

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
434	私立保育所等運営費	01	一般会計		
		03	民生費		
基本施策	8	子どもを産み育てやすい環境をつくる	04	児童福祉費	
			02	児童措置費	
担当部課名	伊賀支所 健康福祉課		101	私立保育所等運営費	
作成者氏名	福永 保	連絡先	45-1016	細々目	私立保育所等運営費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	市外の保育所への入所を希望する園児と保護者	園への送迎等、保護者の負担が軽減される。					
本年度事業内容	保護者の勤務等の家庭状況を考慮し、希望に沿った広域入所に伴う委託先保育所の運営費を負担する。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	児童福祉法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0
人件費合計(A)	720	720	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	713	1,104	0
委託料	713		
負担金補助		1,104	
その他			
合計(A+B)	1,433	1,824	0
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			510
その他特財			
一般財源	1,433	1,314	0
上記①～③に関する特記事項			
その他特財は、保育所負担金。H19年度は、予算編成時までに希望があれば計上の見込み。			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
委託園児数	人	1	1	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
委託園児数	満足度は数値化できないので、単なる委託園児数とする。	人	1 目標 ()	1	0
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

保育所入園適齢児の該当児がある場合のみ。18年度途中退所。現在0人。

評価	必要性	4	現在休止(該当者があれば再開)	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A